

尿道カテーテル抜去率

排尿自立指導の目的は、尿道カテーテルを1日でも早く抜去し、尿路感染を防止すると共に排尿自立の方向に導くことです。排尿自立とは、「排尿管理方法は問わず、自力で排尿管理が完結できる事」です。この指導により、人としての尊厳が守られるばかりではなく、日常生活動作の維持・増進をもたらし、ひいては早期退院・寝たきり患者減少にもつながることを期待しています。

効果の評価

導入前、導入後で比較することにより、その効果を評価できます。目的が尿道カテーテル抜去であることから3つの効果指標が勧められています。

- 尿道カテーテル留置率：その月の入院患者数に対し、カテーテル管理されていた割合
- 尿道カテーテル抜去率：カテーテル留置患者のうち、抜去できた割合
- 有熱性尿路感染症率：カテーテル留置患者のうち、尿路感染により発熱したと考えられる割合
(検尿または尿培養での診断あり)

	カテーテル留置率 (%)	カテーテル抜去率 (%)	有熱性尿路感染症率 (%)
平成31年度	34.84	12.88	10.48
令和2年度	31.45	17.26	7.55
令和3年度	35.54	11.75	9.78

